

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成9年2月17日

第46報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	40		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	80		○
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	60		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	40		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	40		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	200	◎	
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	20		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180	○	◎
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	160		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	40		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	80	7.4	2.7
(珪) 珪藻綱	560	51.9	51.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	3.7	6.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	340	31.5	38.3
(み) みどり虫藻綱	40	3.7	0.5
(緑) 緑藻綱	20	1.9	1.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1080	総体積	8.69E+05
種類数	17	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

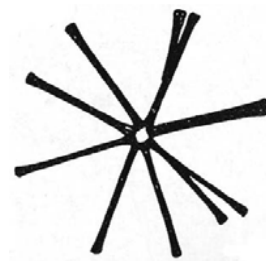
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	200

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Cryptomonas</i> sp.	180

植物プランクトン第1優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。

植物プランクトン第2優占種



***Cryptomonas* sp.**
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。